

災害時に循環器病等の 発症を予防するために

【行政で対応できること】

エコノミークラス症候群

発災直後

車中泊など、同一姿勢に注意する

避難後の予防

- ・足、身体をこまめに動かすよう指導
- ・こまめな水分補給が重要なため十分な水分の確保

脳卒中・心筋梗塞

寒暖差による血圧上昇により発症しやすい

発災直後

【注意】

高血圧の方は
リスクが高まるため要注意

避難後の予防

脱水の予防と平時内服継続

不整脈

発災直後

夏場の発災後に
各世代で起こりうる

避難後の予防

脱水・電解質バランスに
注意する

心不全

特に高齢者に多く発症

発災直後

【注意】

「むくみ」は悪化のサイン

避難後の予防

塩分が管理された
食事の提供

血圧の管理

ストレスや環境変化により血圧上昇

発災直後

避難後の予防

- ・気温が低い時期には特に注意
- ・血圧は130以下を目安に

特に暑い日の大量発汗時には、経口補水液やスポーツ飲料の補給

簡易ベッド、トイレ等の避難環境の整備

塩分を摂りすぎないように適切な管理徹底